



会見する河合スポーツ庁長官

スポーツ庁

9月から「シユूपロ」始動へ

スポーツ庁は7月9日、河合純一長官による記者懇談を開き、健康応援プロジェクト「シユープロ」を今年9月から開始することを明らかにした。

シユーズとプロジェクトから着想を得た新たな造語「シユープロ」。9月からの展開を目指す同プロジェクトは、運動・スポーツの習慣化に向け、人々の意識行動の変容を促すため展開するもの。ビジネスシーンを含め、スニーカー等の動きやすい靴の利用を促進すること、自然と動きたくなる気持ちを高め、よりアクティブな日常行動や運動・スポーツ実施を促し、国民全体の健康増進、ウェルビ

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会 開催支援本部 松本文部科学大臣が挨拶



文部科学省で7月15日、愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会開催支援本部の初会合が開かれた。アジア競技大会は9月19日～10月

開催支援本部の初会合で挨拶を述べる松本文科大臣

4日まで、アジアパラ競技大会は10月18～24日まで愛知県名古屋市中心に開催される。初会合では、政務三役をはじめ、文科省・文化庁・スポーツ庁幹部が出席し、開催まで約2ヶ月となった同大会におけるスポーツ庁の準備状況等の報告が行われた。

同本部は冒頭のみ公開。はじめに松本文科大臣が挨拶し「アジア最大のスポーツの祭典を日本で開催することは、スポーツの力を世界に発信するとともに、多様性と共生社会の実現を国内外に示す大きな機会だ。本日は、大会本番を目前に控え、文部科学省が一丸となって大会に臨むことができるように開催支援本部を執り行う」とした上で「スポーツを所管する文部科学省として、何よりも重要なのは、アスリート一人ひとりが安心安全な環境の下で最高のパフォーマンスを発揮すること。選手の努力が実を結ぶ舞台となるよう、政府として万全を期する必要がある。大会期間中の危機管理は大変重要だ。台風などの自然災害をはじめ、テロ行為その他大会運営に大きな影響を与える事態が発生した場合には、迅速な情報共有を図るとともに、関係機関との連携のもと、適切に対応をしていかなければならない。文部科学省全体で互いに協力し合い、大会の成功に向けて万全の体制で対応していきたい」と述べた。

スポーツ庁

スポまち／表彰'26募集開始

スポーツ庁はこのほど、「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰2026について、自治体の取組計画の募集を開始した。応募締切は8月31日まで。

同表彰制度は、スポーツを活用した「地方創生」「まちづくり」に積極的に取り組む自治体のアイデアを表彰し、全国に広く知ってもらうため2021年に創設されたもの。これまで延べ114の自治体を表彰してきた。審査の上、受賞した自治体については、11月17日に開催予定の表彰式典において、スポーツ庁から表彰状が授与される。

スポーツ庁は「受賞された自治体の取組が着実に実行へと移され地域の活性化に結び付くよう、サポートしていきたい」としている。

ーイング向上に結びつきたい考えだ。靴を起点に毎日をよりアクティブにするため、労働者、事業者、地方公共団体、関係業界などのステークホルダーで一体的に進めていくこととしている。

7月中をめどに賛同企業・団体の募集を開始するほか、8月開催予定のイベントにおいて、より詳細な内容を説明するとしている。